

# プロから学んで健康に

県美容業生  
生活衛生組合

## 交流サロン型サービス

大船渡

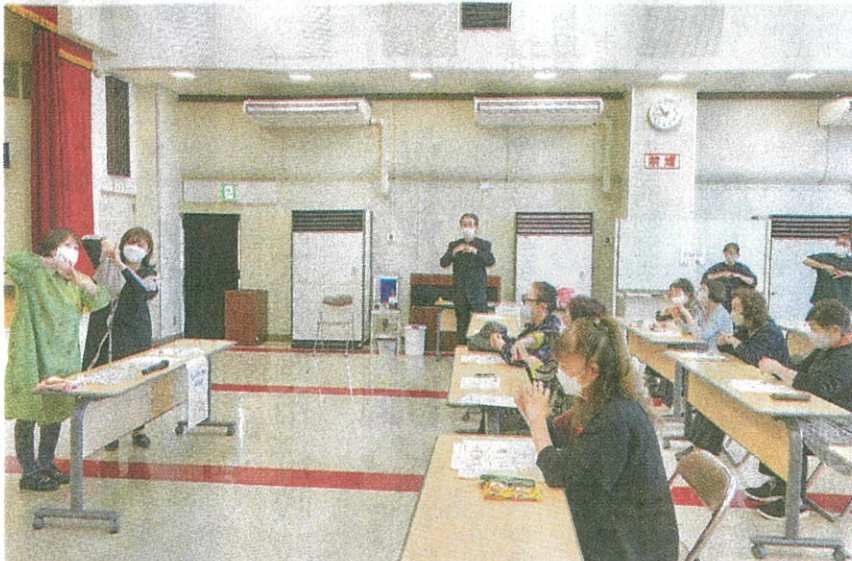
県美容業生活衛生同業組合（佐々木靖理事長）主催の「交流サロン型サービスin大船渡」は16日、大船渡市盛町の市総合福祉センターで開かれた。地元美容、理容、飲食のプロたちが高齢者向けに三つの講座を行い、参加者らは学びと交流を通じた健康づくりを図った。

交流型サロンサービスは、衛生業界のプロたちが地域社会と連携し、高齢者にサービス提供などを行うモデル事業で、厚生労働省の補助金を活用して令和3年度から実施。公益財団法人県生活衛生営業指導センターが企画し、県の飲食業、理容各生活衛生同業組合、市社会福祉協議会が協力した。

この日は地元の高齢者ら14人が参加。佐々木理事長は「美容、理容、飲食のプロが講座を行う。分らない

いことは何でも質問し、家でも役立ててほしい」とあいさつ。気仙地区生活衛生同業組合連絡協議会の黒澤泉会長が参加組合を紹介し、美容業、理容、飲食業

各組合の地元支部メンバーらが講座を行った。  
美容業組合は「ハンドマッサーの仕方」と題し、1日5分でできる簡単なハンドマッサー方法を解説。参加者らは説明を聞きながら挑戦し、手の甲のさまざまなツボにも理解を深めた。  
理容組合は「アイスパ・



高齢者を対象に開かれた「交流サロン型サービス」  
（電子新聞に別写真あり）

耳マッサー」として、目のまわりや耳のマッサージを実演。温かい蒸しタオルを目元や後頭部にある「盆のくぼ」などに当て、血行を良くする方法も伝授した。

最後は、「おいしい料理の作り方」をテーマに、飲食業組合が旬の食材を使った料理3品を紹介。▽炊き込みご飯▽アユの甘露煮▽サンマのすり身汁―を用意し、試食も交えて作り方を伝えた。

講師陣は、プロの知識や技術を分かりやすく教え、参加者らは笑顔で交流も深めながら実践。「じっくり教わることができ、中身の濃い講座だった」などと話し、充実した表情を見せていた。